

4月16日 藤原岳

永井 繁一

山名	藤原岳 (1144m)		山行名	下見
ルート	藤原岳観光駐車場→大貝戸登山口→八合目分岐→藤原小屋→藤原岳→藤原小屋→八合目分岐→大貝戸登山口→藤原岳観光駐車場			
山行日	2022. 4. 16 (土)		天候	晴れ時々薄曇り
参加者	リーダー： 永井 繁一 男性： 女性： 合計： 2名		サブリーダー： 竹原 順治	

ルート概略図 	コースタイム				
	地名	時：分	地名	時：分	
藤原岳 観光駐車場	集	8:30	藤原小屋	着	12:38
	発	8:40		発	12:50
大貝戸 登山口	着	8:50	八合目 分岐	着	13:18
	発	-		発	-
八合目 分岐	着	10:30	大貝戸 登山口	着	14:45
	発	10:35		発	-
藤原小屋	着	11:25	藤原岳観 光駐車場	着	14:55
	発	12:00		発	
藤原岳	着	12:20		着	
	発	12:25		発	

松井山手を6:20に出発。名神に入ってから事故で通行止め情報を確認する。下りる予定の八日市ICより名古屋側が通行止めと分かり、SLのスマホ情報を頼りに下りるICを変更し、R421を三重に向かう。三重の天気予報は曇りのち晴れであったが、滋賀県走行中は曇り時々小雨で、風も幾分強く感じた。天くらの予報では、山頂付近は登山に適さない指数C(温度8℃程度風速12前後)が出ており若干気持ちが落ち込んでいた。ところが県境の石榑トンネルを抜けると青空が広がり、登山口まで好天が続いて気持ちが晴れた。事故の影響による時間ロスは何となく8:15頃に大貝戸登山口駐車場に到着する。25台の無料駐車場はすでに満車である。車で数分の所にある有料(300円)の観光駐車場に停める。連休中に当たる例会当日(5/3土曜)は、観光駐車場の利用になりそうである。

天気も良く、神武神社横の大貝戸登山口をスタート。登山道はしっかり整備されており、また二合目から九合目まで看板もあり、道迷いの心配はほぼないと思った。ただ一息つける緩傾斜区間が少なく結構な急登区間もあるので、小まめな立ち休憩は必要である。七〜八合目付近から藤原小屋までの登山道は大小の石灰岩の露頭が続き、安定する踏み場選びを心掛けた。九合目付近では木々の間から残雪が見られ、白と青空のコントラストに目が留まった。展望がきく藤原小屋で藤原岳を眺めながらの昼食後、藤原岳(展望丘)に向かう。小屋にはトイレ有。

小屋から見上げると緩傾斜に感じた山頂直下の一部区間は急登で、疲れ切った足には堪えた。登りきると岩だらけの山頂は狭く、山頂での昼食は難しいと判断する。例会でも藤原小屋での昼食を予定したいと思う。

山頂からみる伊勢湾の景観は素晴らしかったが、北北東方向はモヤっており白山などの山並みを見る事ができず残念だった。福寿草も咲いていたらしいが、見つけられず残念。

ヒヤリハット:なし